

日本疫学会プレセミナー 2024

# 生存時間解析における 追跡時間の分割(split)の 考え方と使い方

## 開催概要

開催日時：2024年1月31日(水)13:00～15:00

参加費：一般4,000円 学生1,000円

開催形式：現地および後日オンデマンド配信  
(リアルタイム配信なし)

参加申込期間：2023年1月24日まで

参加登録：第34回日本疫学会学術総会の参加登録ページより  
<http://jea2024.umin.jp/>

現地(定員300人) + 後日オンデマンド配信

※現地参加は、300名のみの方の先着申込順となります。

※非会員でもご参加いただけます。

※プレセミナーのみの参加も可能です。

※後日オンデマンド配信も予定されています。

※現地参加の方は、申込および参加費のお支払いを1月24日までに  
完了していただきますようお願いいたします。

時間を斬る!



プレセミナーのURL  
[https://jeaweb.jp/activities/seminars/individual.html?entry\\_id=1880](https://jeaweb.jp/activities/seminars/individual.html?entry_id=1880)

## 講師



岩上 将夫

筑波大学 医学医療系 准教授  
ロンドン大学 (LSHTM)  
特任助教



竹内 由則

横浜市立大学  
データサイエンス学部  
データサイエンス学科 准教授



石丸 美穂

東京医科歯科大学  
統合教育機構  
特任助教

## 企画

岩上 将夫

筑波大学 医学医療系 准教授  
ロンドン大学 (LSHTM) 特任助教

篠崎 智大

東京理科大学 工学部  
情報工学科 准教授

## 座長

伊藤 ゆり

大阪医科薬科大学 医学研究支援セン  
ター 医療統計室 室長・准教授

篠崎 智大

東京理科大学 工学部  
情報工学科 准教授

日本疫学会プレセミナー 2024

## 生存時間解析における 追跡時間の分割(split)の 考え方と使い方

時間を斬る！



### 概要

生存時間解析の基本は、曝露の有無・状態によって群分けを行い、追跡開始時点から追跡終了時点までの生存時間に基づいたノンパラメトリック or セミパラメトリック or パラメトリックな記述・比較を行う（回帰モデルを構築する）ことです。

しかし、例えば、(1) 発生率、発生率比、ハザード比などが時間と共に変化すると想定される場合、(2) 時間依存性曝露因子を扱う場合（追跡途中で曝露の有無・状態が切り替わる場合）、(3) 自己対照研究を行う場合、などには、個々の生存時間を分割 (split) して解析を行う必要があります。

本セミナーの目的は、生存時間解析における追跡時間の分割 (split) の考え方および使い方について学ぶことです。

なお、本プレセミナーは、これ単独で完結するプログラムになっていますが、この後の時間のプレセミナー「生存時間アウトカムの因果解析」の導入として受講していただくと、より理解が深まることが期待できます。

#### 【主な内容】

- イントロダクション：生存時間解析の基本（講義）
- 時間を区切って発生率、発生率比、ハザード比を求める（講義および統計ソフトによるデモ\*）
- 時間依存性曝露因子を扱う（講義および統計ソフトによるデモ\*）
- 自己対照研究（講義および統計ソフトによるデモ\*）
- クロージング

\* 当日は時間的制限のため、講師によるデモのみとし、ワークショップの形式（受講者の皆様のパソコンを用いた実習）とはしません。た

だし、受講者の皆様にはSAS、R、STATAの練習用データセット・コマンドを事前配布し、セミナーの前後に御自身で体験・実践していただけるようにします。

#### 【達成目標】

- 疫学者にとって基本かつ最も重要なスキルの1つである生存時間解析についての理解を深める。
- 生存時間解析における追跡時間の分割(split)の考え方と使い方について理解し、自分の研究データに応用できる。

### 対象

- ・生存時間解析の初学者
- ・生存時間解析を行ったことがあるが、追跡時間を分割 (split) するというコンセプトについてピンとこない方
- ・時間依存性曝露因子という言葉を初めて聞く方、あるいは、時間依存性曝露因子のデータ解析について詳しく学んでみたい方
- ・自己対照研究デザインについて馴染みのない方、あるいは、自己対照研究デザインのデータ解析について詳しく学んでみたい方
- ・この後の時間のプレセミナー「生存時間アウトカムの因果解析 — 斬った時間をリスクに戻す、反事実アプローチによる統合的な解析法のすすめ—」に申し込んでおり、その事前知識を身につけておきたい方